

県営野球場整備移転先提案募集

甲佐町県営野球場誘致プロジェクト

県営藤崎台球場（熊本市）の老朽化を課題とする県が、新たな移転先を提案方式で募集したことを受け、本町がその候補地として田口台地に誘致したい旨の企画提案書を、7月24日（金）に県へ提出しました。県が示す「駅近」「街中」という厳しい要件に対し、既存の駅と道路網を融合させる「甲佐町」だからこそ実現可能な、周辺交通と調和した地域活性化の新たな拠点のあり方を強く提案しています。

※イラストはイメージ図です。

田口台地誘致への3つの優位性

- ✓ 広大な敷地を活用して、熊本をけん引する「未来」をつくるまちづくりを実現
- ✓ 九州の中央に位置し熊本市中心部からも11*_{km}圏内九州自動車道がありアクセス環境が良好
- ✓ 各区長や町商工会、JA かみましきなどをはじめ、周辺自治体から賛同を得るなどの強固な連携体制

甲佐からはじまる「くまもと新時代」

町では、県の示す球場の移転再整備の条件をもとに、町職員や企業などの有識者で構成するプロジェクト会議を設置し、野球場や周辺地域などの整備を検討してきました。

球場誘致が実現することにより、交流人口拡大など町全体の地域活性化はもとより、県政の重要な課題である県央・県南地域の地域振興にも寄与することが期待されます。

球場誘致に向けての主な取り組み

周辺6市町の賛同による強硬な連携体制を確立 ～宇土市、美里町、御船町、嘉島町、益城町、山都町～



7月17日（金）、甲佐町生涯学習センターで「甲佐町への熊本県営新野球場誘致を契機とした地域活性化に関する賛同書署名式」が開催されました。

本町のみならず周辺自治体、県全域における地域経済の活性化や地域振興に大きな波及効果が及ぶことが期待されることを踏まえ、本町から各市町に協力を依頼。宇土市、美里町、御船町、嘉島町、益城町、山都町の1市5町が賛同書に署名しました。

楽天トータルソリューションズ(株)と「県営野球場の誘致等に関する連携協定」を締結

7月23日（木）、楽天トータルソリューションズ(株)と誘致に関する連携協定締結式を開催しました。

同社は、東北楽天ゴールデンイーグルスを運営する(株)楽天野球団と同じく楽天グループに所属する企業で、同社のスポーツ事業のノウハウを活用しつつ、台湾のプロ野球チームとのスポーツ交流などにも期待が広がります。式典で、甲斐町長は「強力なタッグを組めることは、本町の未来を切り開く大きな希望」と話し、同社の梁川芳宏社長が「甲佐町をはじめ熊本県、九州全体の元気につながる球場づくりに共に取り組みたい」とあいさつしました。

